

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点 L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R7.9.1	11:05	11:27	26.9	26.9	砂	5Y3/1	貝殻	1.3	>1.3

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R7.9.1	11:05	8.0	1.0	2.3	7.3	4670	32.80	1.4	4	1.8	N. D. (0.0014)	0.0046	0.0010

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R7.9.1	11:27	7.6	456	23.2	1.5	0.7	2.750	1.4	7.9	60.2	26.4	1.4	2.7	0.35	9.5	N. D. (0.22)	12	N. D. (0.15)

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	R7.9.1	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0046	—	—	—	17	N. D. (6.4)	17	—		
				R7.8.28	藻類・植物	単子葉植物	イ ^ハ マモ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	0.17	—	—	—	—	—	0.60	N. D. (0.40)	0.60	—
					藻類・植物	緑藻	ア ^オ サ	ア ^オ サ	<i>Ulva pertusa</i>	ア ^オ サ	—	0.23	—	—	—	—	—	0.97	N. D. (0.32)	0.97	—
					環形動物	多毛	ス ^ヒ オ	ス ^ヒ キゴ ^カ イ	Cirratulida	ミズヒキゴカイ科	—	0.043	未成体/成体	—	—	—	—	5.0	N. D. (1.2)	5.0	—
					節足動物	軟甲	エ ^ビ	モ ^ク ス ^ガ ニ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	73	0.15	未成体/成体	—	—	—	—	1.3	N. D. (0.44)	1.3	—
					節足動物	軟甲	エ ^ビ	ウ ^リ カ ^ニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ	5	0.30	成体	—	—	—	—	0.39	N. D. (0.27)	0.39	—
					軟体動物	二枚貝	カ ^キ	イ ^ホ ガ ^キ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	27	0.12	未成体/成体	—	—	軟体部	0.54	N. D. (0.54)	0.54	—	
					軟体動物	二枚貝	マ ^ル ス ^ガ レ ^カ イ	マ ^ル ス ^ガ レ ^カ イ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	16	0.021	未成体/成体	—	—	軟体部	N. D.	N. D. (2.1)	N. D. (1.7)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カ ^サ コ	ア ^イ メ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	1	0.014	未成魚	—	—	—	N. D.	N. D. (2.8)	N. D. (2.7)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カ ^サ コ	フ ^サ カ ^コ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	13	0.53	未成魚	—	—	—	0.62	N. D. (0.33)	0.62	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ス ^ズ キ	キ ^ス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス	2	0.034	未成魚	—	—	—	N. D.	N. D. (1.0)	N. D. (0.67)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ス ^ズ キ	ス ^ズ キ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	1	0.44	未成魚	空胃	—	内臓除去	0.57	N. D. (0.30)	0.57	—	
					脊椎動物	硬骨魚	フ ^グ	フ ^グ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	1	0.024	成魚	—	—	—	N. D.	N. D. (1.8)	N. D. (1.7)	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。